

行政タイムラインについて

◆経緯

タイムラインとは、災害発生予想時期から逆算して、「いつ、だれが、何をするか」をあらかじめ定める事前防災行動計画である。

河南町では、地域防災計画の改定を契機に土砂災害を念頭においたタイムラインを策定することとなった。

◆内容

- ・ワークショップ形式で開催

第1回（タイムライン、地域のリスクを学ぶ、平成29年台風第21号防災行動のふりかえり）

第2回（リスクを共有する、平成29年台風第21号の課題の解決策を考える）

第3回（行動目標、行動項目の洗い出し）

第4回（行動手順の確認、図上訓練）

- ・参加者 庁内全部局、警察、消防、消防団、社協、気象台、インフラ企業、大阪府

◆効果

- ・「いつ」「誰が」「何を」するかを定めるため、災害対応の漏れがなくなる。
- ・庁内全体での対応の意識付けが出来た。
- ・関係機関の動きが分かり連携が可能になった。

